

軒昂会

軒昂会会報 第11号
発行者 日原 雄
編集者 田村千秋
発行日 平成11年3月
発行 年 3回発行

http://www.kenkokai.dl.dion.ne.jp

会報は年3回を予定しています。皆様の原稿お待ちしております。頂いた方にはお礼を申し上げます。原稿の送り先 秦野市渋沢 3-2-7 〒259-1322 FAX:0463-88-2967 E-Mail: c-tamura@bd5.so-net.ne.jp 会社:c.tamura@amada.co.jp 田村千秋

軒昂会ホームページオープン

田村千秋

- 1999年3月軒昂会ホームページをオープンしました。右はトップ画面です。
- 「お知らせ」では近況の出来事や情報、例えばゴルフコンペの案内とか、結果報告とかを紹介しています。
- 「会員のHP」軒昂会会員個人のHP欄です、会員の中で自分のHPを載せたい希望の方は申請下さい。HP作成は無料で作ります。
- 「会報」この会報のバックナンバーを掲載しています。
- 「リサイクル」新年会の時に案内しましたリサイクル品の有効利用の為にリストを掲載します。あなたのお家で不要になった物を出して下さい。譲り渡し価格、品物の程度、仕様、等列記下さい。
- 「軒昂会行事」年間の行事等を紹介致します。
- 「アクセスカウンター」黄色い番号はこのHPをアクセスした回数です。3月10日～3月21日までの11日間で51回のアクセスがあったこととなります。

軒昂会会員の中で自宅でHP（ホームページ）を開き軒昂会のHPや世界中の情報をアクセスしたいかどうか分からない、また通信費用や装置（パソコン）の購入等を知りたいことがありますしたら事務局まで連絡ください。軒昂会会員同士の情報交換は電子メールでやりましょう。

軒昂会ホームページアドレス

http://www.kenkokai.dl.dion.ne.jp



第26回軒昂会ゴルフコンペ開催

本間 茂

三月十五日（月）大森野力ゴルフクラブで盛大に行われました。気にしていた天気も午前中は雨も降らず、また午後からはほぼ曇り降って来ました。寒いながらも楽しめました。皆さまの参加お待ちしています。

優勝 本間 茂
準優勝 勝俣清次
三位 大村喜堂

「軒昂に生きる人々」(その五)

「軒昂に生きる」とは、川野 進 人は生れ落ちて、その短い生涯を終わるまでどんな人生を生むかは、その若き日にどんな書を読み、何に悩み、どのような人に会うかによる、と言ったようなことがあります。

環境や教育が人の考えを大きく左右すると言ったことですが、読み書き、中心であったように思われます。それに比べ私の知る米國や佛國では、生徒は与えられたテーマについて、自分の意見を人々の前で話すと言ったような時間がたくさんあったり、又、与えられたテーマや本について調べ自分の意見を付けてレポートを出す等と云うことが日本とは比べものにならない程度多いように思えます。このことは人の意見を聞く（特に反対意見）こと及び自分の意見を述べることの能力を高めることに役立つことと考えられます。日本は上述の教育の為かと思いますが、笑うことは良いことだが泣くことは良くないこと、賛成することは良くないこと、反対することは良くないことと思われ、た時代が長く続いているように思えます。可愛い一人息子が戦いで死んでも、母は涙をこらえ「名譽の戦死」と世間に笑顔をみせたり、又色々な理由があるにせよ、過労死や病死を薄々感じながら現状に賛成し死ぬまで働く、そんなことが最近でもよく見かけます。

二月十日午後六時頃のテレビで米國の某社がスーパーマーケットで使う買物用カートが開発に関するニュースを流し、カートの物理的形状を変え使いやすくすること、カートにセンサーのような決済機能を付けたというようにも紹介したが、開発会社の社長が「私のアイデアに反対の意見やアイデアが出てくるのを期待している」と云っていました。

戦後の日本の教育制度が変わると云われるが、依然として否、もともと本人の判断を必要としないうものが多くなったように思えます。これは必然的に本を読んだり、人の話を聞くことと能力を養わないことにならざるを得ないです。

さてタイオキシンの公害問題、不良債権問題や企業の不適当な投資が大きく取り上げられていますが、これ等に関係する仕事に従事した人達は、その上下を問わずその怖さを薄々分かってはいたに違いない、しかし彼らはゴミを焼却することは一面のみ、あるいは金を儲けようとするのみが自分を利用すること、の一面だけを見たり、必要な建物でも反対して嫌われるままで行こうとする、事実又発言もさせなかったのである。

さらに恐ろしいことは、人の意見、とりわけ反対意見を聞くことになれていない（多分能力がないかもしれない）人達によって、この判断力のない人が社会でも企業でもない「有能な人」と重宝されて来たのである。そして今はどうであるのか、その「有能な人」達はリストラにおびえ一層無口となり、反対意見等聞く耳を持たなくなった人々は自分で決めきれず、パブリックはじめて十年、小学生が夏休みの宿題を休みの終わりにあててくるが如く、合併した撤退した賛成と反対、喜びと哀愁を各々同格にとらえ何物にも制限を受けず、自分で判断し感動と共に生きる「軒昂に生きる」と云うことではないかと思えます。

軒昂会会員数

九十名

平成十年度新会員 九名
平成十一年度新会員募集集中

お知らせ

軒昂会ではリサイクル品の有効利用の一環として、不要になった物を出してもらいリストを作成し欲しい人います。生き物の粗大ごみはこまりますが。

お願い

平成十年度軒昂会年会費 二千元会計までお願いいたします。

AMTだより

小田原三月十八日新藤会長のテープカットでオープンしました。東西最大の規模です。是非の来店をお待ちしています。



第七回 街道史跡の原型を留める保存会

桜田忠男

街道史跡の原型を留める保存会を東海道五十三次を歩いて見てわかることですが、現在の三重県には当時の街道史跡が原型に近い形でいくつも残っています。街道の分岐点にある追分遺跡では四日市宿のはずれにある日永の追分は五十三次宿のものだと思えます。東海道と伊勢参宮道との分岐道に建つこの追分史跡は東海道を旅する旅人達の伊勢神宮参拝の場所をも兼ねていて、我々日本人は伊勢神宮に対しては精神的に深い思い入れを持っていますので、今でもそこに立って遙か神宮を遥拝する、道中何と不安がちな旅の気分が安らぐのを覚えます。一里塚では龜山宿と関宿の間にある野村一里塚は始と原型のまま保存されており、これを見るとどこまでこの型の所々は残っているのか、里塚跡はたかと思ひました。晴らしい天を眺めながら、宿場の当時の面影を思い出すのは伊勢の里塚の町に思い入れがある。五十三次イムスリ気持ちはなせ伊勢の里塚（三重県）にはこの十三次の里塚を留めて残っているのでしようか、それは交通網の発達と密接な関係があるようです。東海道新幹線も名神高速道路もこの地域を迂回して通っています。亀山や関を通る鉄道は関西本線だけじゃありません。名ばかりでダイヤには入っていません。



即ち急速に交通網の発達がなされるのが妥当であると思えます。ですから今後街道資産を守り次の世代に引き継いでいくためには交通網の発達と考えるのが妥当であると思えます。五十三次の伊勢路への旅は当時の熱田（宮宿）から海路を桑名に渡りましたが、現在の伊勢路にはこのルートはありませんが、我々は熱田から木曾三川を越えて桑名へ、更に四日市を経て鈴鹿峠下の坂之下宿までの73キロメートルを歩き通しました。ここに7つの宿場があり前記の一見に値する街道史跡があります。通算3日で通過しましたので一日当りの歩行距離は24キロメートルになります。尚、この区間は効率を考え1泊2日、2回のスケジュールにて歩行しました。

裏面もめりまします

第10年度軒昂会総会

日時 1月17日(日) PM:6.00~7.00

場所 リゾートピア箱根

主席者 40名(過去最高の集まり)

議事

決議事項

1. 役員の改選

役員全員任期中のため現状維持

2. 会計報告

収入 132,833円

支出 115,570円

預金 570,881円

3. 新会員紹介 (敬称略)

柚木洋一

足立紀久雄

勝俣清次

高井卓二

湯川忠彦

池田征服士郎

阿部 清

加藤政雄

大村喜堂

4. 年会費3ヶ年未納者については脱会するものとみなす。

5. 年会費振込先ご案内

第一勧業銀行 秦野支店

普通口座 1722281 田村千秋

追記：会報を綺麗に仕上げるためプリンタ

(Epson PM2000C ¥37,000)を購入しました。

1999年3月26日

事務局